効果報告レポート

【事業者名】

株式会社137

【サービス名称】

AI音声感情解析×探究学習支援サービス「ことこと」

【サービスの支援項目】

カテゴリ1-1　探究的な学びの高度化　メインサービス

2026年1月

137
ICHI-SAN-NANA

1. サービスの概要、特徴

「ことこと」とは？

「ことこと」は、音声感情解析AIを活用した、**児童生徒の「自己認識・他者理解」を育む探究学習支援サービス**です。客観的に可視化された**自分の気持ちに気づくこと**で**メタ認知を高め、未来をより良く生きるEQ（感情知性）を育む学びの支援**をします。

- **感情解析×自己探究**：5～7秒の「声」から心のエネルギーを可視化。言葉にできない内面の変化やエネルギー量（元気度）を捉え、自己観察を深めるきっかけを作ります。
- **豊かな学びの循環**：「自分を知る」ことから始まり、社会情動的スキルの向上、主体的な学び、Well-beingの実現を目指します。
- **先生の負担軽減とチーム支援**：健康観察の自動化と変化の可視化により、先生が「一人で抱えない」見守りを。管理職や他職種との情報共有もスムーズにします。

(1)導入によるメリット、類似サービスとの違い等

導入メリット

- **指導の質の向上とデータ活用による教育支援**
  - 児童生徒一人ひとりの元気度や感情の変化が可視化により、個々の児童生徒に合わせた声かけ（モチベーション・マネジメント）がしやすくなる。
  - 上記の支援により、学習の意欲の高まりや、児童生徒が主体的に学びやすくなる。
- **探究学習の質の向上**
  - **豊かな表現の言葉に気づく「オノマトペ」を使っての語彙力と表現力の向上**
  - 自分自身を知るための自己観察を通じて、内省力・自己調整力のトレーニングにつながる。

(2)学習に関連する効果又は業務効率化・利便性等に関連する効果

学習効果（児童生徒）

- ✓ **メタ認知自己理解の深化とから探究の質向上**：感情の可視化による客観的な振り返りの向上と、自己観察からの感情/情動的な自己成長の学びを充実させる「探究の質の向上」に寄与した
- ✓ **感情表現の語彙力と表現意欲の育成**：オノマトペ活用ワークショップを通じ、自分の気持ちを多面的に捉え、言語化する力。表現力の質向上に関心が高まった
- ✓ **心理的安定とWell-beingの向上**：不安やストレスを可視化・認識する機会が増え、自己調整力やメタ認知能力が育まれた

エビデンス活用効果・業務改革・利便性（教職員）

- ✓ **データに基づく客観的な生徒理解**：「経験や印象」への依存を脱却し、客観的データ(エビデンス)に基づき、一人ひとりにあった状況把握から適切なサポートを実現
- ✓ **情報共有の迅速化と属人化の抑制**：AIアラートや記録のデジタル化により、学校全体での共通理解と連携体制を強化
- ✓ **指導準備の効率化・時間短縮**：面談前や会議前の情報整理が容易となり、実務的な負担を軽減しつつ質を担保

(3)サービスの活用場面

サービス活用場面

①**朝の健康観察、帰りの会**で１日の振り返り

②**授業の前と授業の後**（元気度や感情変化の可視化）

③**生徒指導・個別面談、保健室利用時**の状態把握　など

(4)１サービスあたりの標準販売価格

標準販売価格

１校当たり月額3万円（税抜）
※初期導入費用はかかりません。
※訪問説明・訪問研修をご希望の場合は、別途お見積りさせていただきます。
※教育委員会様一括導入などの場合は、別途ご相談対応いたします。

2. サポート内容（サービスの利用に際しての自社のサポート体制等）

導入時の研修と初期設定サポート

サービス開始にあたり、教職員向けの導入研修を実施。円滑な運用開始に向けた初期設定や活用法を支援します。

運用マニュアル完備と迅速な電話サポート

日常の疑問を解決する教職員向けマニュアルを完備。また、操作や活用の疑問に迅速に対応する電話・オンラインによる個別サポートを提供します。

■学校等教育機関の課題と解決策

「自分を知る」ことを起点とした学びの必要性　豊かな学びや未来を生きる力の土台には、自己理解と感情理解が不可欠です。感情を分かち合う習慣が、他者理解や信頼関係構築の第一歩（Well-beingの基盤）となります。

児童生徒・教職員が抱える課題

未来を生きる力を育むための 現状と課題

探究学習やWell-being重視の流れの中で、「自分を知る」ための手法と機会が確立されていない。

児童・生徒が抱える壁

- 感情の言語化・表現方法が分からず、内省が表面的な振り返りに留まってしまう。
- 不安やストレスを自覚・表出する機会が少なく、自己肯定感の低下に繋がっている。

教職員の困難さ

- 生徒理解が経験や印象に依存し、客観的な把握や早期の兆候察知が難しい。
- 個別対応の負担が大きく、指導や支援のノウハウが属人化しやすい。

サービスが果たす役割

サービスの提供価値

感情の分かち合いを「弱さ」ではなく「信頼の起点」へ。自己理解を基盤とした教育環境を構築する。

AI×アナログのハイブリット支援

- 音声解析による感情可視化：自分の心の動きをデータで客観視し、メタ認知能力を育む。
- オノマトペカードWS：安心して感情を表現できる場を作り、語彙力と自己理解を深化。

教育現場へのインパクト

- 探究の質向上：内面からの気づきを起点に、学びの主体性と深いリフレクションを実現。
- 支援の最適化：客観的な情報基盤により、教職員の連携を強化し個別最適な支援を可能に。

■探究・校務改革支援補助金における活用場面

サービスの活用風景・授業の流れ

8:20 ～ 朝の会

健康観察・音声チェックイン

児童生徒がタブレット端末に「音声」を入力。AIが音声からその時の感情・元気度を解析し、教員用ダッシュボードに一覧表示します。

✓課題解決：不調の早期発見

従来の「はい・いいえ」では見えない、声の調子から児童生徒のSOSをキャッチ。

9:00 ～ 授業・探究学習

授業前後のリフレクション

授業の「始め」と「終わり」に音声で振り返り。「ワクワクした」「難しかった」等の感情推移を記録します。

✓課題解決：不調の早期発見

感情の可視化により、「なぜこの時心が動いたか」を客観視し、自己理解を深める。

放課後

教員間でのデータ共有

アラートが出た生徒の情報を管理職へ自動共有。チームで支援方針を協議します。

▲活用風景・健康観察▲

▲活用風景・リフレクション▲

本事業においてサービスを導入した学校設置者数・学校等教育機関数

学校設置者数	3	学校等教育機関数	4校

	学校設置者名	学校等教育機関名	所在地	学校種	学年	実施内容
1	学校法人城星学園	ヴェリタス城星学園高等学校	大阪府大阪市中央区玉造2-23-26	高等学校	1～3年生	総合的な学習（探究）の時間、その他（朝の会など）
2	能美市教育委員会	能美市立寺井小学校	石川県能美市寺井町ヨ60	小学校	1～6年生	総合的な学習（探究）の時間、その他（朝の会など）
3	長沼町教育委員会	長沼町立長沼小学校	北海道夕張郡長沼町銀座北1丁目3番1号	小学校	1～6年生	総合的な学習（探究）の時間、その他（朝の会など）
4	長沼町教育委員会	長沼町立長沼中学校	北海道夕張郡長沼町中央南2丁目3番1号	中学校	1～3年生	総合的な学習（探究）の時間、その他（朝の会など）

ヴェリタス城星学園高等学校

SDGs未来都市 能の美市 NOMI, ISHIKAWA, JAPAN

長沼町 Naganuma Town

※ロゴ等は、各団体の公式ホームページから引用

定量的効果検証

導入実績・規模、感情の可視化・早期支援の実現

導入・実証校数	登録児童生徒数	教職員登録者数	早期支援機会の創出率
4校	738名	102名	7.7%

導入規模から見る初期フェーズの基盤確立

（※）

- **メタ認知と他者理解の両立（児童生徒）**：音声感情解析によって客観的な自己観察が可能になり、深い内省を通じて自分を大切にしながら他者と響き合う「社会情動的スキル」を育むことができました。
- **データに基づく早期支援の実現（教職員）**：目に見えにくい生徒の**微細な変化をシステムが自動算出＝可視化（7.7%）**できたことで、見守りの不安を解消し、**客観的データ（エビデンス根拠）に基づいたチーム支援の質を向上**させることができました。※録取した音声から元気度が上昇又は下降した児童生徒をアッシュボードに自動表示（可視化）した割合（録取数207件、うち可視化数16件）
- **実証基盤の確実な構築**：4校の異なる環境での運用を通じて、システム設計と運用フローの安定性を確立しました。
- **客観的データの蓄積**：児童生徒の感情・元気度のデータが蓄積され、個人の振り返りや学級の状態把握に活用可能な「教育ビッグデータ」としての運用が始まっています。
- **機能に関する意見収集**：教職員アカウントの利用を通じて、現場の業務実態に合わせた機能のフィードバック収集および改善検討の体制を構築しました。

定性的効果検証

「ことこと」導入による教育活動の質的変化

自己探求から協調性へ：生徒の内面的な変容

「ことこと」による感情の可視化をきっかけに、生徒は**自身の感情と向き合う体験**をしました。（補足：導入時のワークショップ等での対話実践を通じて、「**共に学び、共に生きる**」という意識が醸成されました。）

「誰もが『**お互いのことを知ろう**』と積極的に**コミュニケーション**をとり合っていました。」

ー生徒向けワークショップ　参加教員の声

指導者の意識変容：メタ認知体験と共感性の向上

教員自身が「ことこと」の感情の可視化、オノマトペによる語彙に触れ、**自己の感情を客観的に見つめる「メタ認知」を体験**。このプロセスが、**生徒の感情を深く理解し、非認知能力を育む指導の土台**となりました。

「自分では気づけない、**感情の気づきがあった**」「**先生方が笑顔**になった」

ー導入時教員研修　参加教員の声

データが繋ぐ理解：新たな連携の可能性

客観的な感情データが共通言語となることで、**生徒の内面を理解する新たな「手がかり」**が得られました。これが、より深い対話や連携を生む一助となることが期待されます。

「言葉で表しにくい生徒の変化を、**データで早期に察知**できる。対話のきっかけ作りとして有効だと期待しています。」

ー導入事例 担当教員の声

自己探究・対話・感情表現を重視した「自己探究　対話ワークショップ」・アンケート結果（参加者：23名の回答）

満足度の平均値	項目別	①オノマトペのカードを使ったワーク	②グループでの対話のワーク	③ことことの感情解析	④テーマやコンセプト	⑤ワークの時間の長さ	⑥会場へのアクセス	⑦仕事に役立つ部分はありましたか。	⑧ことことワークショップをご自身でもやってみたいですか？	⑨ことことワークショップの講師認定講座に関心はありますか？
4.7		4.7	4.8	4.3	4.5	4.4	4.7	4.5	4.1	3.1

児童・生徒の声

これからの未来に連れて行きたい気持ちは「勇気」です！ 不安もあったけど、**自分の心と向き合う時間のおかげで前向きになれました。**

友達から感情のカードをもらうと、こんなに嬉しいんだって気づきました！ **自分の気持ちを分かって**もらえて、みんなと繋がれた気がします。

教職員の声

自分自身でも気づかなかった気持ちにハッとさせられました。まずは**私たち教員が自分を知り、楽しむこと**。この体験を、早く子どもたちとも分かち合いたいです。

最初は緊張していた生徒たちが、**対話を通じて見る見るうちに打ち解けていきました**。アクシデントすら「楽しい思い出」に変えてしまう彼らの姿は、本当に頼もしかったです。

ウェルビーイングを願って教壇に立っている私としては、音声からのエネルギー値を参考にして**子どもたちを多面的・多角的に観察できる**と感じました。

学校に来ていない子どもたちにおいても**家での様子を把握するきっかけ**になると感じました。

■探究・校務改革支援サービスを活用するにあたっての課題とその改善策

「ことこと」の導入において、概念理解や運用の標準化、生徒の操作習熟が課題となりました。今後は、支援コンテンツの拡充や標準利用モデルの提示により、スムーズな導入と現場での効果的な活用を促進します。

直面した課題

導入時の課題

「ことこと」は音声入力を起点としたAIの感情解析による自己探究支援サービスであり、従来のICTツールとは異なる利用体験を提供する。そのため、導入当初はサービスの概念理解に時間を要した。特に、音声入力とAI解析を組み合わせた新しい手法の意義や活用シーンが具体的にイメージしづらく、学校側へ理解を促すためには複数回の説明やデモンストレーションが必要となった。

実施していく中で見えてきた課題

- **利用シーンの標準化不足**：学校によって探究学習の位置づけや進め方が異なるため、最適な利用シーンが統一されず、現場での運用にばらつきが生じた。
- **生徒の音声入力定着に向けたサポートの必要性**：音声入力に不慣れな生徒も多く、適切に入力するためのガイダンスや操作支援が必要であることが明らかとなった。

解決するための改善策

導入時の課題への改善策

- **導入説明コンテンツの拡充**：動画マニュアル、デモ授業資料、活用事例集などを体系的に整備し、サービス理解を迅速化するとともに、導入前後の説明業務の効率化を図る。

運用中の課題への改善

- **「標準利用モデル」の提示**：探究の年間計画に沿った推奨利用ステップや、学習場面ごとの活用ガイドラインを提示し、学校ごとの運用を設計・標準化する。これにより、現場での迷いを減らし、サービスの効果的な活用を促進する。

■会社概要

社名	株式会社137
代表	黒田　千佳
設立年月	2014年1月
本社	東京都港区南青山4-17-33　グランカーサ南青山2F
資本金等	10,000,000円
売上高等	非公表
従業員数	非公表
事業内容	・社会課題解決に向けた事業構想(プロジェクトデザイン)、新規事業企画開発 ・Webコンテンツの企画開発、運営販売に関する事業 ・人材育成・教育に関する事業

■お問い合わせ窓口

担当：高橋

電話：050-3646-2566

Mail：kotokoto.support@137.co.jp

137
ICHI-SAN-NANA